

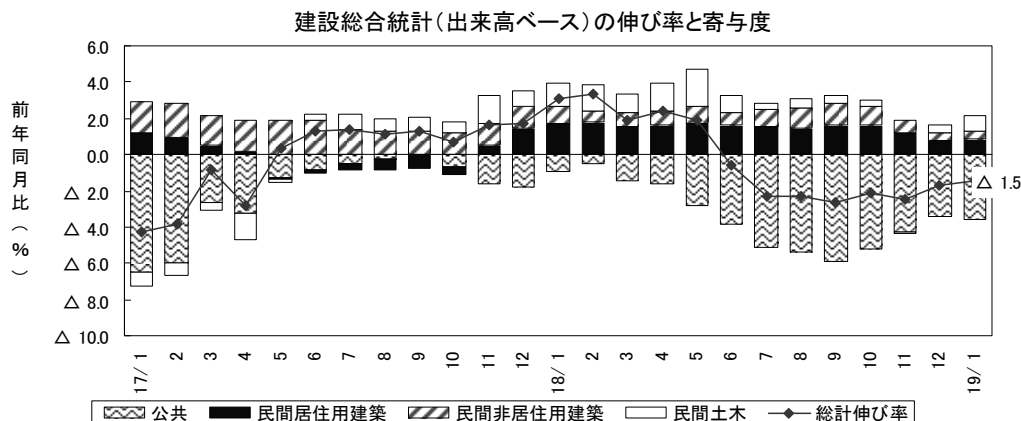
1. 建設投資の概況

(1) 建設総合統計（出来高）

1月の建設総合統計を出来高でみると、全体で4兆719億円と前年同月比1.5%減少した。

公共は、建築が1,788億円（前年同月比10.4%減）、土木が1兆3,643億円（同8.5%減）となり、全体では1兆5,431億円（同8.7%減）となった。

民間は、建築が2兆567億円（前年同月比2.7%増）、土木が4,721億円（同7.6%増）となり、全体では2兆5,288億円（同3.6%増）となった。



(単位：億円)

区分	年度年月	総計	民間	建築		土木	公共
				居住用	非居住用		
年	15年度	553,431	317,379	257,091	182,294	74,798	236,052
	16	529,330	326,160	269,803	186,261	83,542	203,170
	17	536,080	338,704	278,771	188,528	90,242	197,376
年	16年	533,255	323,419	266,254	185,094	81,159	209,835
	17	532,507	333,841	275,533	186,321	89,212	198,666
	18	531,035	350,651	288,068	194,400	93,669	180,385
月	18年 10月	48,532	31,876	26,418	17,811	8,607	16,656
	11	49,409	31,480	25,934	17,553	8,381	17,929
	12	51,400	31,977	26,099	17,754	8,345	19,422
次	19年 1月	40,719	25,288	20,567	13,910	6,657	15,431

(前年比・%)

年	15年度	△ 6.3	0.4	0.1	△ 0.2	0.9	1.7	△ 14.1
	16	△ 4.4	2.8	4.9	2.2	11.7	△ 6.5	△ 13.9
	17	1.3	3.8	3.3	1.2	8.0	6.3	△ 2.9
年	16年	△ 5.5	1.6	3.5	1.3	9.2	△ 6.4	△ 14.7
	17	△ 0.1	3.2	3.5	0.7	9.9	2.0	△ 5.3
	18	△ 0.3	5.0	4.5	4.3	5.0	7.3	△ 9.2
月	18年 1月	3.1	7.0	5.7	5.3	6.5	13.5	△ 2.1
	2	3.3	6.6	5.1	5.5	4.2	13.5	△ 1.2
	3	1.9	5.9	5.1	5.2	4.8	8.8	△ 3.5
	4	2.4	6.3	4.6	4.7	4.4	14.4	△ 4.3
	5	1.9	6.8	4.5	4.3	5.0	19.0	△ 9.5
	6	△ 0.6	4.7	4.1	4.1	4.0	8.0	△ 12.7
	7	△ 2.3	4.2	4.4	4.0	5.4	2.9	△ 16.4
	8	△ 2.3	4.6	4.6	3.9	6.2	4.7	△ 16.1
	9	△ 2.7	5.2	5.4	4.7	7.0	4.0	△ 16.2
	10	△ 2.2	4.9	5.2	4.9	6.0	3.4	△ 13.4
	11	△ 2.5	2.8	3.8	3.7	3.9	△ 1.3	△ 10.7
	12	△ 1.7	2.8	2.5	2.4	2.8	3.9	△ 8.4
次	19年 1月	△ 1.5	3.6	2.7	2.5	3.1	7.6	△ 8.7
累計	4月～1月	△ 1.3	4.5	4.2	3.9	4.8	6.1	△ 11.5

資料：国土交通省「建設総合統計」

注)平成12年度以降のデータに対して、遡及して計算結果等の見直しを行っている。

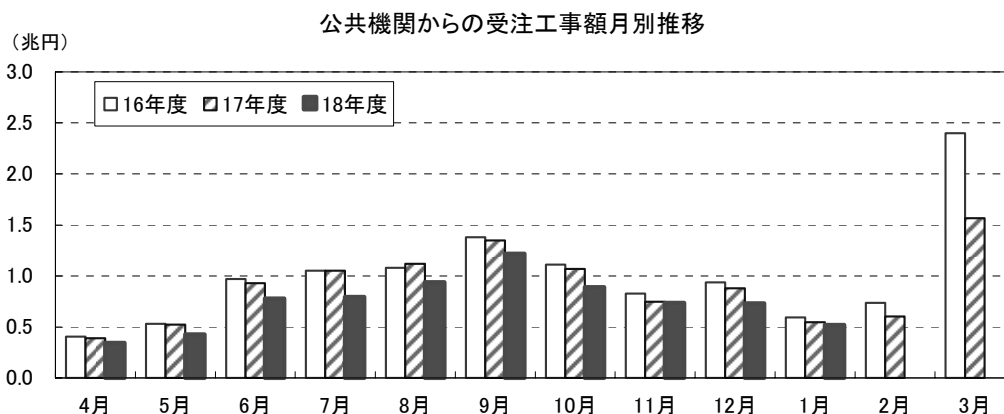
(2) 公共機関からの受注工事

1月の公共機関からの受注工事額（1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は、国の機関1,876億円（前年同月比27.1%増、9ヶ月ぶり）、地方の機関3,337億円（同16.6%減、15ヶ月連続）となり、全体で5,213億円（同4.8%減、17ヶ月連続）となった。

工事分類別でみると、下水道（前年同月比27.6%増、寄与度+3.2）、庁舎（同151.0%増、寄与度+2.4）等が増加し、道路（同16.0%減、寄与度-5.6）、治山・治水（同28.0%減、寄与度-3.2）等が減少した。

さらに、発注機関・工事分類別でみると、都道府県の道路（寄与度-4.2）、地方公営企業の道路（寄与度-2.6）等のマイナスの寄与度が大きい。

1月の大手50社調査では、公共工事は前年同月比24.6%増加（先月の減少から再び増加）した。

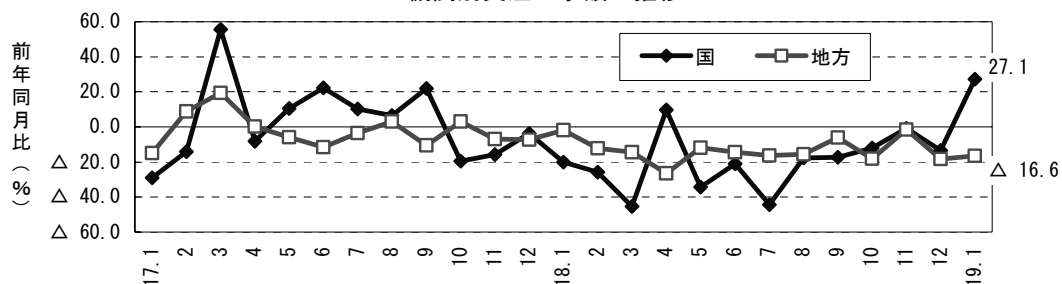


公共機関からの受注工事額（前年比・%）

区分 年度年月		総計	国の機関			地方の機関				
			小計	国	国以外 の機関	小計	都道 府県	市区 町村	地方 公営 企業	その他
年	15年度	△ 17.5	△ 14.3	△ 18.8	△ 6.9	△ 19.0	△ 22.4	△ 15.0	△ 22.1	△ 20.5
	16	△ 5.6	4.1	7.9	△ 1.4	△ 10.4	△ 9.8	△ 10.9	△ 6.3	△ 15.2
	17	△ 10.2	△ 17.5	△ 23.3	△ 8.2	△ 6.1	△ 4.4	△ 10.4	19.6	△ 17.9
年	16年	△ 14.8	△ 12.0	△ 22.3	4.7	△ 16.1	△ 18.0	△ 13.5	△ 19.3	△ 17.9
	17	2.6	12.6	30.4	△ 8.9	△ 2.5	0.2	△ 6.8	21.8	△ 17.4
	18	△ 18.8	△ 28.6	△ 30.8	△ 24.8	△ 13.0	△ 14.1	△ 15.2	△ 2.1	△ 1.0
月	18年1月	△ 7.5	△ 20.0	△ 23.2	△ 15.5	△ 1.8	△ 2.2	2.8	7.0	△ 42.7
	2	△ 17.5	△ 25.9	△ 18.3	△ 36.5	△ 12.2	△ 13.3	△ 19.1	9.2	△ 4.3
	3	△ 34.4	△ 45.4	△ 56.3	△ 1.0	△ 14.5	△ 16.7	△ 26.7	26.6	16.0
	4	△ 12.1	9.7	7.7	14.5	△ 26.5	△ 40.0	△ 26.6	96.7	△ 42.7
	5	△ 18.4	△ 34.3	△ 35.8	△ 32.4	△ 11.9	△ 18.8	△ 13.4	7.1	97.4
	6	△ 16.4	△ 21.1	44.5	△ 62.4	△ 14.5	△ 26.0	△ 11.7	9.1	29.8
	7	△ 24.5	△ 44.4	△ 23.0	△ 63.2	△ 16.3	△ 8.6	△ 18.4	△ 33.6	△ 24.6
	8	△ 16.2	△ 17.7	△ 9.2	△ 27.3	△ 15.7	△ 29.1	△ 9.7	6.9	29.1
	9	△ 9.7	△ 17.3	△ 4.3	△ 34.6	△ 6.0	△ 7.8	△ 7.0	2.1	9.9
	10	△ 16.7	△ 12.1	△ 20.3	1.1	△ 18.2	△ 10.1	△ 31.8	△ 12.3	27.3
	11	△ 1.3	△ 0.8	8.4	△ 10.2	△ 1.5	3.6	△ 2.8	12.4	△ 47.5
	12	△ 16.8	△ 13.5	△ 28.8	4.5	△ 18.3	△ 9.7	△ 18.3	△ 47.5	△ 14.0
19年1月	△ 4.8	27.1	25.1	29.7	△ 16.6	△ 26.3	△ 5.2	△ 19.1	△ 2.0	
累計	4月～1月	△ 14.3	△ 15.4	△ 6.0	△ 26.4	△ 13.8	△ 15.5	△ 14.2	△ 9.1	△ 0.6

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

機関別受注工事額の推移



政府建設投資関連指標

(単位:億円)

	公共機関からの受注工事				前払請負額 (※)	出来高 (総合統計)	公的固定資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
16年度	120,127	43,227	76,900	30,111	137,354	203,170	240,064
17	107,719	35,538	72,181	24,738	129,622	197,376	240,022
18年Ⅰ期	27,166	12,010	15,156	7,779	25,759	54,167	67,019
Ⅱ	15,470	4,760	10,711	3,247	31,244	34,486	42,772
Ⅲ	29,494	7,782	21,712	5,200	34,177	37,725	47,956
Ⅳ	23,580	6,724	16,856	4,485	29,679	54,007	66,703
18年8月	9,381	2,460	6,922	1,680	10,367	12,407	
9	12,175	3,621	8,554	2,431	12,646	14,416	
10	8,905	2,364	6,542	1,436	12,129	16,656	
11	7,369	2,089	5,281	1,426	9,071	17,929	
12	7,305	2,272	5,034	1,623	8,479	19,422	
19年1月	5,213	1,876	3,337	1,240	6,120	15,431	

(前年比・%)

	公共機関からの受注工事				前払請負額 (※)	出来高 (総合統計)	公的固定資本形成
	総計	[国の機関]	[地方の機関]	大手50社			
16年度	△ 5.6	4.1	△ 10.4	△ 0.9	△ 11.1	△ 13.9	△ 11.5
17	△ 10.2	△ 17.5	△ 6.1	△ 17.8	△ 5.6	△ 2.9	0.0
18年Ⅰ期	△ 26.8	△ 40.3	△ 10.8	△ 43.2	△ 11.8	△ 2.3	1.3
Ⅱ	△ 16.0	△ 16.2	△ 16.0	△ 12.8	△ 11.7	△ 8.5	△ 5.2
Ⅲ	△ 16.2	△ 25.4	△ 12.3	△ 32.6	△ 9.7	△ 16.2	△ 13.4
Ⅳ	△ 12.5	△ 9.4	△ 13.6	△ 18.8	△ 3.1	△ 10.7	△ 8.0
18年1月	△ 7.5	△ 20.0	△ 1.8	△ 36.4	△ 6.8	△ 2.1	
2	△ 17.5	△ 25.9	△ 12.2	△ 12.5	△ 8.3	△ 1.2	
3	△ 34.4	△ 45.4	△ 14.5	△ 50.2	△ 15.4	△ 3.5	
4	△ 12.1	9.7	△ 26.5	12.6	△ 17.3	△ 4.3	
5	△ 18.4	△ 34.3	△ 11.9	△ 45.5	△ 0.7	△ 9.5	
6	△ 16.4	△ 21.1	△ 14.5	△ 2.6	△ 13.2	△ 12.7	
7	△ 24.5	△ 44.4	△ 16.3	△ 51.4	△ 4.3	△ 16.4	
8	△ 16.2	△ 17.7	△ 15.7	△ 18.2	△ 13.9	△ 16.1	
9	△ 9.7	△ 17.3	△ 6.0	△ 29.0	△ 10.6	△ 16.2	
10	△ 16.7	△ 12.1	△ 18.2	△ 30.2	△ 2.0	△ 13.4	
11	△ 1.3	△ 0.8	△ 1.5	5.3	△ 5.6	△ 10.7	
12	△ 16.8	△ 13.5	△ 18.3	△ 23.1	△ 1.7	△ 8.4	
19年1月	△ 4.8	27.1	△ 16.6	24.6	△ 0.9	△ 8.7	
4月~1月	△ 14.3	△ 15.4	△ 13.8	△ 21.1	△ 8.0	△ 11.5	

資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」、内閣府「四半期別国民所得統計速報」

北海道建設業信用保証(株)・東日本建設業保証(株)・西日本建設業保証(株)「公共事業前払保証統計」

注)公的固定資本形成は、名目、原系列値。

(※)公共機関からの受注工事が請負契約時点ベースでの請負契約の全体額を計上しているのに対し、前払請負額は前払保証契約時点ベースでの前払保証の対象となる請負金額を計上している等の理由により、必ずしも両者の傾向は一致しない。

(3) 住宅

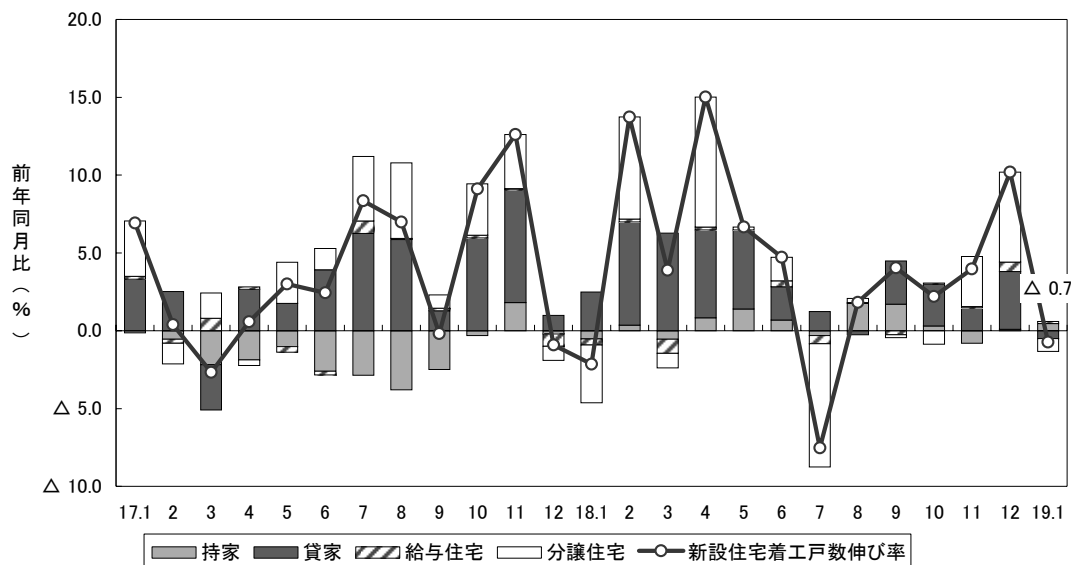
1月の着工は92,219戸。前年同月比でみると、持家は増加したものの、貸家、分譲住宅が減少したため、全体で0.7%減少（6ヶ月ぶり）した。

季節調整済年率換算値の推移をみると、平成18年1-3月期1,269千戸（前期比0.8%増）、4-6月期1,302千戸（同2.6%増）、7-9月期1,261千戸（同3.1%減）、10-12月期1,327千戸（同5.2%増）、平成19年1月1,253千戸（前月比3.6%減）となった。

新設住宅着工戸数（戸、前年比・%）

区分		総戸数	総計	持家		貸家	分譲住宅		季節調整値 (年率換算) 総戸数 (千戸)
				公庫 融資			マ ン シ ョ ン		
年度	15年度	1,173,649	2.5	2.1	△ 31.5	0.9	5.6	2.0	
	16	1,193,038	1.7	△ 1.6	△ 52.2	1.9	4.6	2.5	
	17	1,249,366	4.7	△ 4.0	△ 34.1	10.8	6.1	11.2	
年	16年	1,189,049	2.5	△ 0.8	△ 44.0	3.0	5.8	1.9	—
	17	1,236,175	4.0	△ 4.5	△ 42.8	8.5	6.8	12.4	—
	18	1,290,391	4.4	1.5	△ 28.5	7.8	2.7	4.0	—
月	18年 1月	92,899	△ 2.2	△ 2.1	△ 17.5	6.2	△ 10.8	△ 16.6	1,264
	2	96,995	13.7	1.2	△ 32.9	16.5	21.5	38.1	1,331
	3	94,318	3.9	△ 1.8	△ 26.2	17.2	△ 3.0	△ 4.3	1,236
	4	111,260	15.0	2.6	△ 25.6	14.3	30.0	55.8	1,336
	5	108,652	6.7	4.5	△ 25.7	13.1	0.0	0.6	1,292
	6	114,331	4.7	2.2	△ 30.4	5.2	5.4	9.4	1,278
	7	106,649	△ 7.5	△ 1.0	△ 24.8	3.1	△ 25.5	△ 38.3	1,237
	8	111,187	1.8	6.1	△ 26.1	△ 0.6	1.0	1.1	1,286
	9	112,442	4.0	6.0	△ 28.1	6.8	△ 0.7	△ 2.4	1,287
	10	118,360	2.2	1.2	△ 35.6	6.2	△ 2.9	△ 4.1	1,308
	11	115,392	4.0	△ 3.0	△ 36.1	3.3	11.3	16.6	1,330
	12	107,906	10.2	0.3	△ 32.9	8.5	20.3	28.9	1,300
	19年 1月	92,219	△ 0.7	1.8	△ 37.3	△ 1.2	△ 2.7	△ 8.6	1,253
累計	4月～1月	1,098,398	3.8	2.1	△ 29.8	5.7	2.6	3.3	—

新設住宅着工戸数の伸び率と利用関係別寄与度



資料：国土交通省「建築着工統計調査」

<持家>

1月の着工は 23,475 戸。北海道、中国及び九州では減少、その他の地域では増加し、全体では前年同月比 1.8%増加（2ヶ月連続）した。

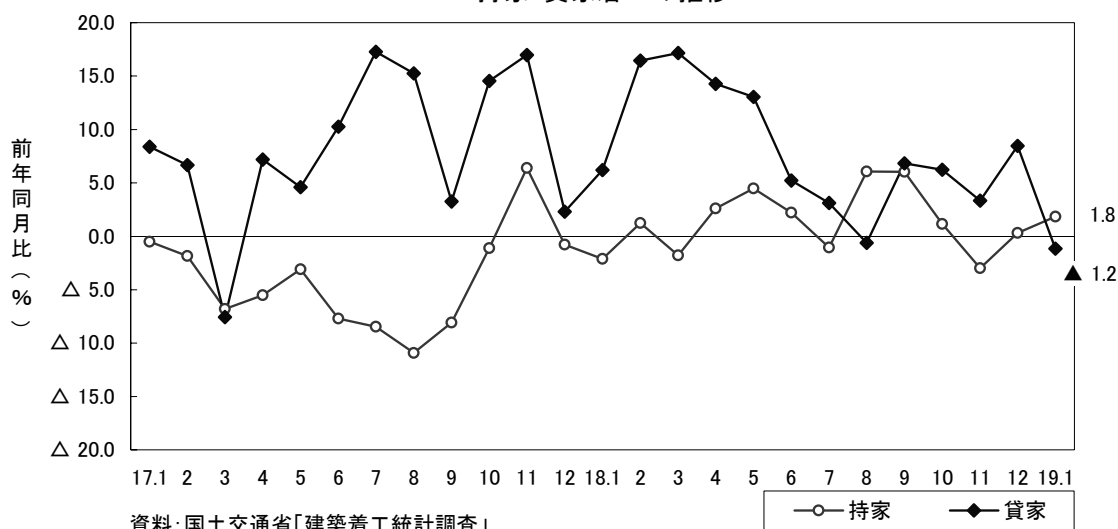
<貸家>

1月の着工は 39,868 戸。北陸、近畿、四国、九州及び沖縄では増加、その他の地域では減少し、全体では前年同月比 1.2%減少（5ヶ月ぶり）した。

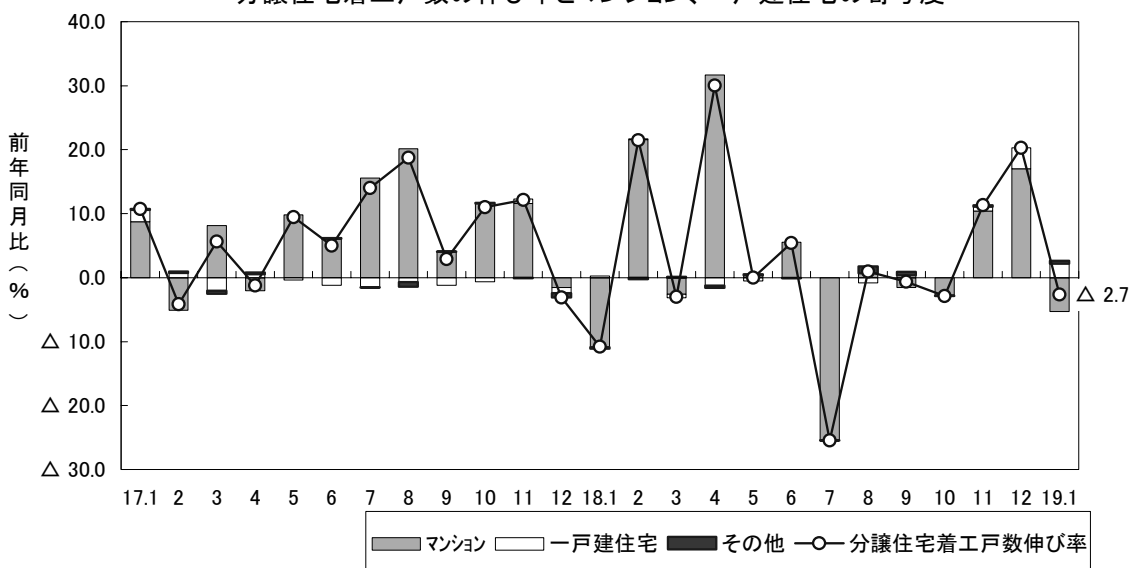
<分譲>

1月の着工は 28,327 戸。北海道、東北、北陸、中部、中国及び沖縄では増加、その他の地域では減少し、全体では前年同月比 2.7%減少（3ヶ月ぶり）した。マンションは 16,301 戸で、首都圏は減少（7,714 戸、前年同月比 23.0%減、3ヶ月ぶり）、中部圏は増加（816 戸、同 48.9%増、先月の減少から再び増加）、近畿圏は減少（3,948 戸、同 11.4%減、先月の増加から再び減少）、その他の地域は増加（3,823 戸、同 36.1%増、3ヶ月連続）し、全体では同 8.6%減少（3ヶ月ぶり）した。一戸建住宅は 11,758 戸で、同 5.7%増加（3ヶ月連続）した。

持家・貸家着工の推移



分譲住宅着工戸数の伸び率とマンション、一戸建住宅の寄与度



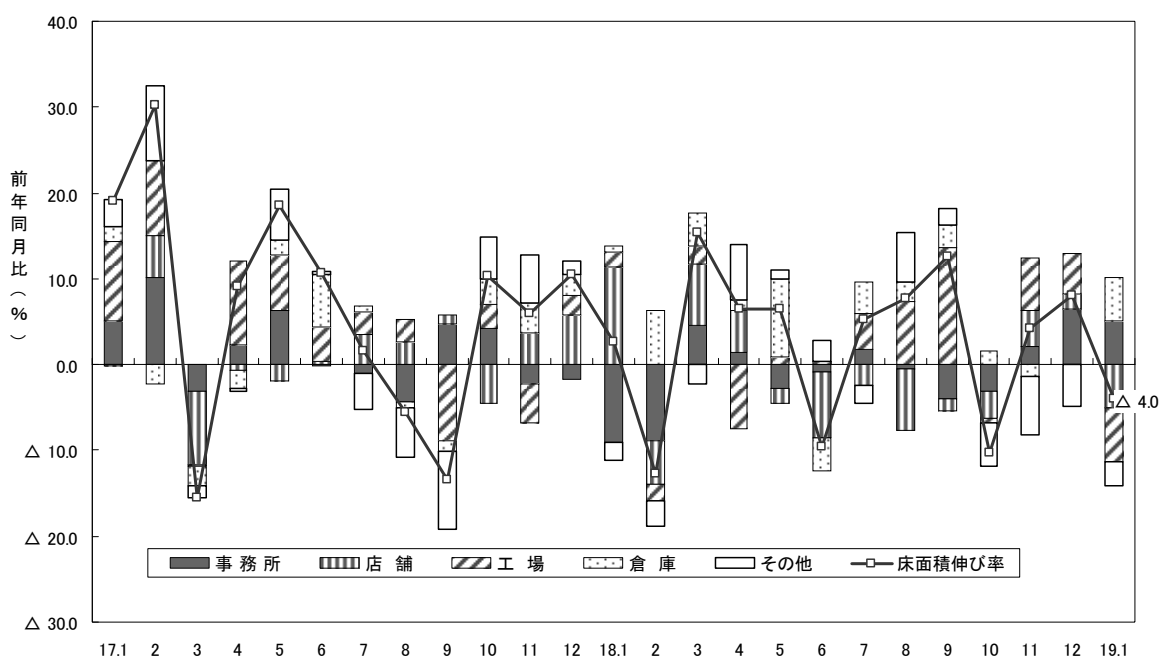
(4) 民間非居住建築

1月の着工床面積は482万㎡で、前年同月比4.0%減少(3ヶ月ぶり)した。

着工床面積を用途別にみると、事務所は63万㎡で前年同月比69.8%増加(3ヶ月連続)、店舗は88万㎡で同22.2%減少(3ヶ月ぶり)、工場は93万㎡で同25.6%減少(3ヶ月ぶり)、倉庫は84万㎡で同42.9%増加(2ヶ月連続)した。

日本銀行「全国企業短期経済観測調査」(平成18年12月実施)で平成18年度の設備投資計画をみると、製造業(大企業)は前年度比16.5%増加(平成17年度前年度比13.9%増加)となり、非製造業(大企業)は同10.1%増加(平成17年度同3.8%増加)となった。また、全産業(大企業)の生産・営業用設備判断DI(過剰-不足)をみると、「最近」は-2、「先行き」は-2となり、設備過剰感は改善傾向にある。

民間非居住用建築物着工床面積の伸び率と用途別寄与度



区分		床面積					工事費予定額					(前年比・%)
		総計	事務所	店舗	工場	倉庫	総計	事務所	店舗	工場	倉庫	
年度	15年度	8.0	11.2	2.5	13.7	9.4	8.8	25.1	△ 5.0	16.8	17.3	
	16	13.8	9.6	7.5	36.0	8.8	9.7	7.1	8.5	44.2	5.1	
	17	3.8	△ 4.4	9.7	6.8	16.3	6.2	△ 9.6	17.0	13.2	17.6	
年	16年	16.9	13.6	12.3	34.9	19.4	16.2	29.6	9.5	47.4	20.5	
	17	5.7	13.2	2.3	12.6	7.2	8.7	12.1	10.3	15.0	6.1	
	18	2.5	△ 9.2	△ 2.0	11.4	16.1	4.4	△ 13.2	4.9	16.8	22.5	
月	18年1月	2.6	△ 54.4	97.0	7.1	5.8	△ 7.9	△ 66.3	110.4	5.0	2.9	
	2	△ 12.7	△ 52.0	△ 25.1	△ 9.0	77.3	△ 18.3	△ 71.4	△ 19.9	14.5	80.5	
	3	15.4	41.6	44.4	10.7	27.8	23.7	68.8	23.9	37.9	36.5	
	4	6.5	16.3	28.2	△ 24.0	10.3	18.8	54.6	49.7	△ 13.6	8.3	
	5	6.4	△ 19.8	△ 10.7	3.9	71.1	△ 1.4	△ 36.1	△ 21.3	17.6	61.8	
	6	△ 9.6	△ 8.2	△ 36.6	2.0	△ 21.6	△ 9.5	△ 18.9	△ 41.4	△ 7.3	△ 14.2	
	7	5.2	17.7	△ 12.0	19.9	28.0	2.8	36.6	△ 8.7	16.0	40.8	
	8	7.7	△ 4.3	△ 34.9	37.2	16.7	14.9	18.5	△ 26.5	63.4	19.0	
	9	12.7	△ 28.4	△ 8.1	78.4	22.4	10.7	△ 34.7	△ 2.4	76.9	22.3	
	10	△ 10.3	△ 24.9	△ 20.7	△ 2.8	12.4	△ 0.2	△ 31.8	△ 32.2	△ 9.6	30.3	
	11	4.2	26.5	25.1	35.5	△ 8.9	19.5	49.8	59.7	42.7	2.7	
	12	8.1	80.5	8.2	23.6	0.2	9.6	102.5	58.0	7.7	14.6	
19年1月	△ 4.0	69.8	△ 22.2	△ 25.6	42.9	△ 1.6	100.5	△ 31.6	△ 0.8	66.6		
累計	4月~1月	2.3	4.9	△ 10.2	10.1	14.3	5.8	8.2	△ 5.1	15.0	22.6	

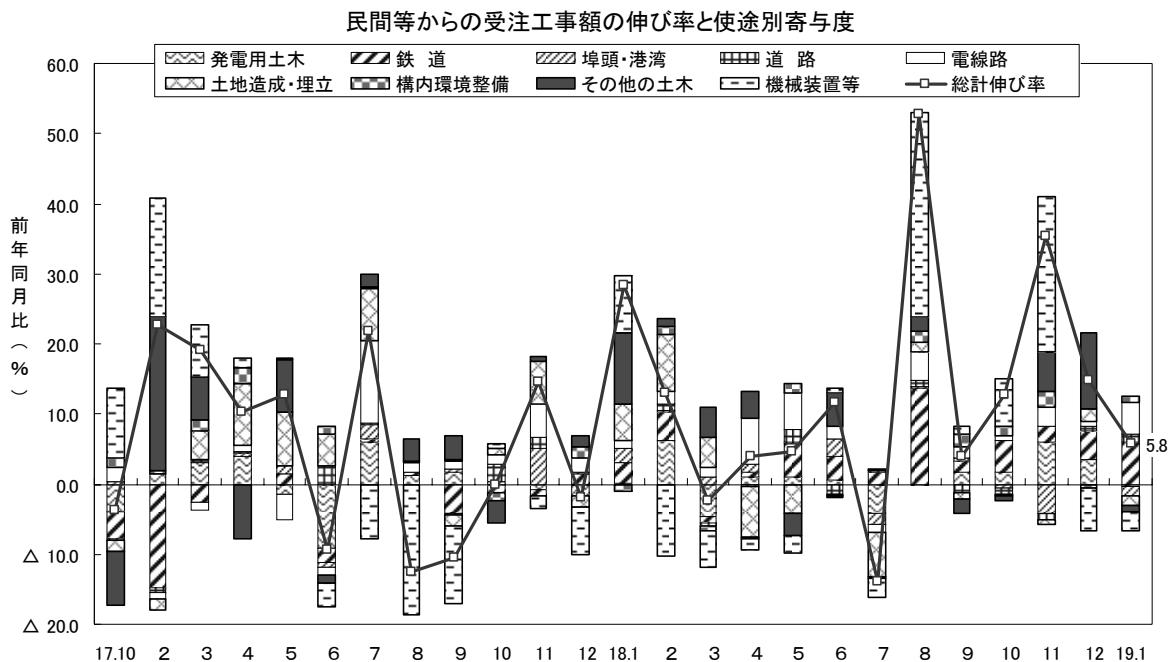
資料：国土交通省「建築着工統計調査」

(5) 民間等からの受注工事（土木工事及び機械装置等工事）

1月の土木工事及び機械装置等工事の受注工事額（1件当たり500万円以上の工事が対象。以下同じ。）は2,317億円で、前年同月比5.8%増加（6ヶ月連続）した。

発注者別でみると、運輸業（前年同月比31.1%増、寄与度+4.9）、電気・ガス・熱供給・水道業（同31.1%増、寄与度+4.2）等が増加し、鉱業、建設業（同69.1%減、寄与度-3.6）、サービス業（同16.7%減、寄与度-1.6）等が減少した。

工事種類別でみると、鉄道工事（寄与度+6.0）、電線路工事（寄与度+4.7）等が増加し、機械装置等工事（寄与度-2.8）、土地造成・埋立工事（寄与度-1.5）等が減少した。

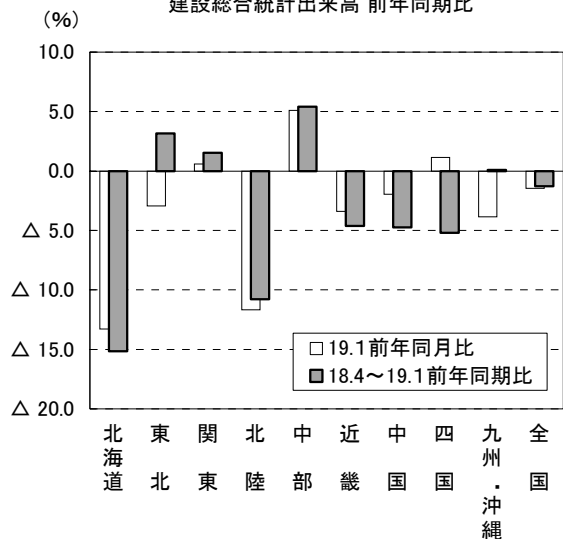


		(前年比・%)								
		総計	発電用土木	鉄道	埠頭・港湾	道路	電線路	土地造成・埋立	構内環境整備	機械装置等
年	15年度	1.4	2.5	△ 8.2	△ 34.1	7.8	5.6	0.6	41.0	△ 1.7
	16	5.5	4.7	△ 11.4	4.6	△ 5.9	△ 15.2	7.8	△ 0.8	30.9
	17	3.6	△ 5.3	△ 0.8	120.6	38.1	18.0	51.0	7.2	△ 11.9
年	16年	△ 13.7	△ 9.9	△ 11.2	△ 3.6	△ 4.5	△ 14.3	15.5	△ 11.7	25.4
	17	11.4	7.2	△ 11.6	92.2	36.5	13.6	34.9	22.0	△ 3.9
	18	15.4	17.2	23.8	9.0	△ 9.8	16.4	1.1	17.2	5.3
月	18年1月	28.4	5.9	23.1	218.7	△ 10.1	6.4	79.5	△ 26.0	18.6
	2	12.9	231.7	36.0	31.6	120.0	20.5	161.9	50.7	△ 19.4
	3	△ 2.4	△ 76.1	△ 3.3	133.7	△ 36.9	25.8	49.5	△ 30.6	△ 14.4
	4	3.9	23.4	6.2	103.6	△ 28.0	43.9	△ 49.4	△ 3.1	△ 4.8
	5	4.6	87.7	46.1	9.8	256.8	75.1	△ 32.7	30.2	△ 6.2
	6	11.7	37.9	21.3	333.6	△ 41.1	14.2	△ 2.8	△ 5.7	1.8
	7	△ 14.0	△ 68.6	17.0	△ 66.4	4.1	△ 5.7	△ 52.3	12.5	△ 8.7
	8	52.8	△ 7.6	81.5	21.8	57.7	33.3	14.2	44.2	79.1
	9	3.9	39.0	10.1	81.9	△ 42.1	13.9	△ 11.5	84.1	2.9
	10	12.7	130.7	36.2	△ 38.9	△ 32.7	3.1	△ 0.6	52.8	16.2
	11	35.3	276.9	16.3	△ 81.9	△ 40.2	18.7	△ 6.0	85.0	61.9
	12	14.8	247.4	28.5	△ 0.3	37.3	7.0	24.5	△ 11.5	△ 14.4
19年1月	5.8	△ 24.7	49.3	△ 51.4	141.8	31.0	△ 16.8	37.6	△ 7.0	
累計	4月～1月	11.3	31.8	29.9	△ 16.6	△ 5.9	17.9	△ 18.5	25.9	9.5

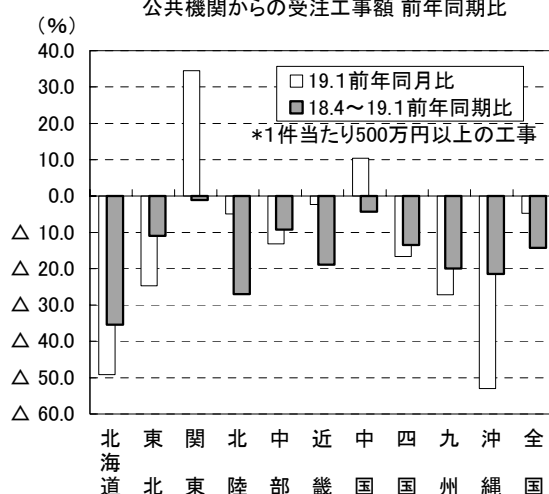
資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

(6) 地域別動向

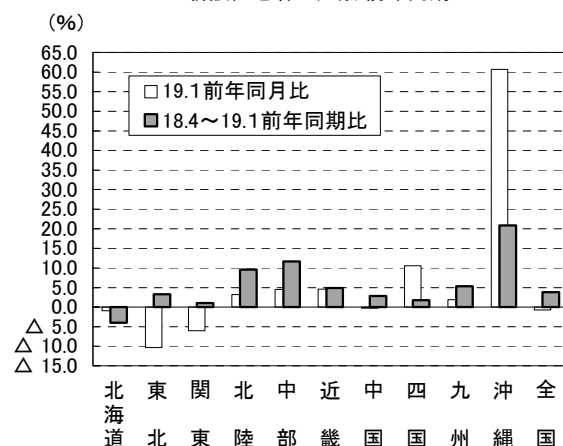
建設総合統計出来高 前年同期比



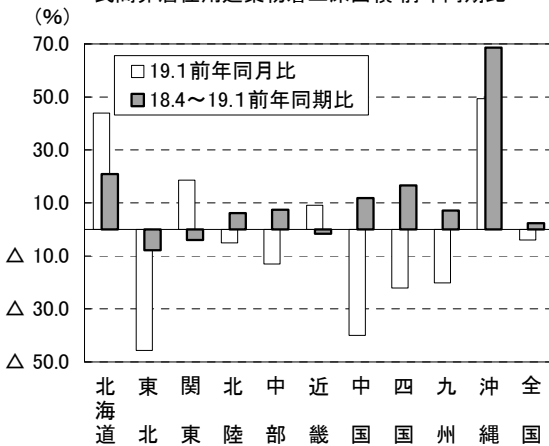
公共機関からの受注工事額 前年同期比



新設住宅着工戸数 前年同期比



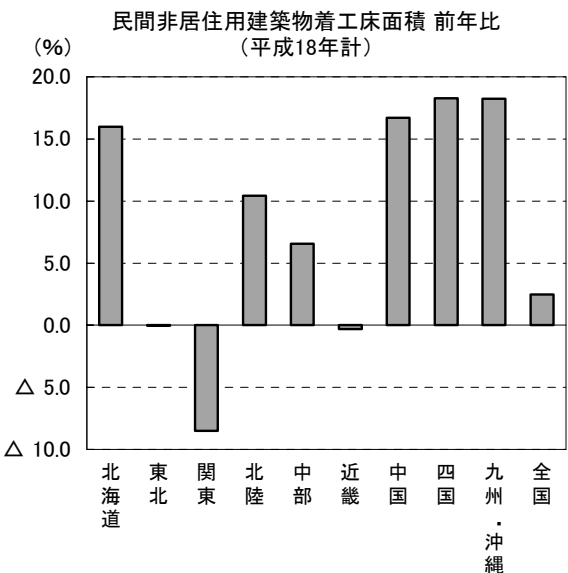
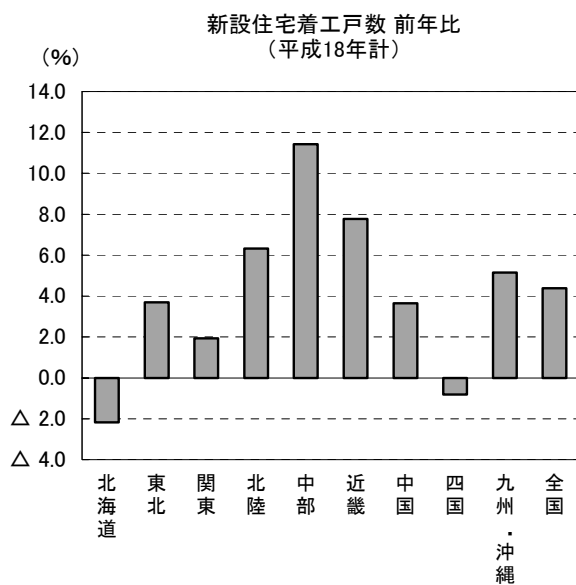
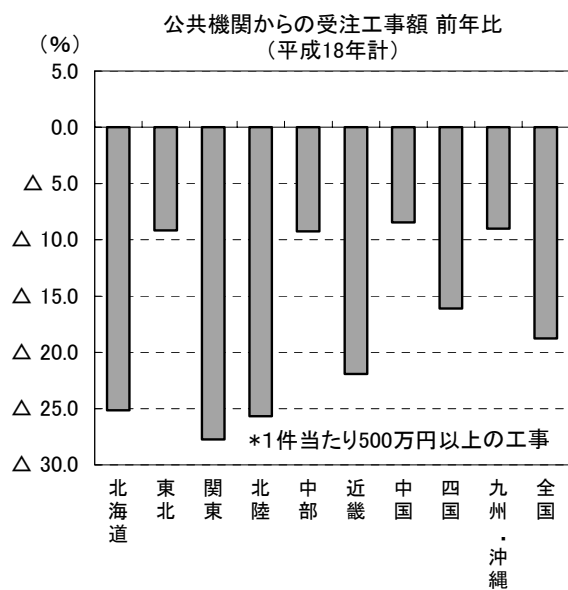
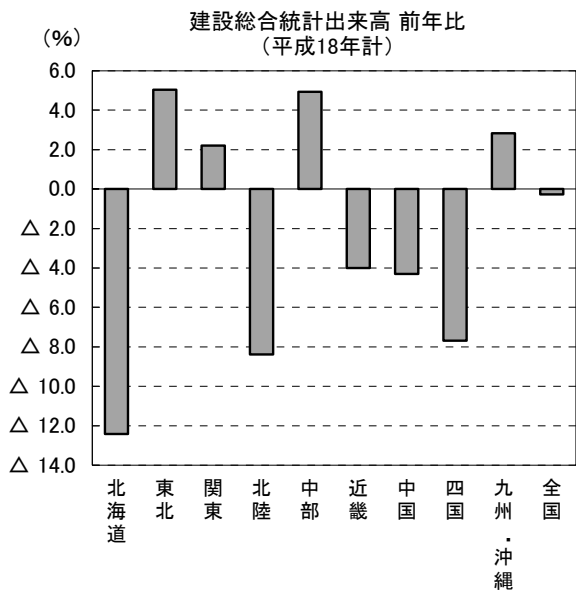
民間非居住用建築物着工床面積 前年同期比



区分	投資 建設 総合 統計 4月~1月	受注・着工				企業 倒産 件数 4月~2月	労働			
		公共機関 受注 4月~1月	民間非 居住用 建築物 4月~1月	新設 住宅 4月~1月	民間等 受注 (土木・機械) 4月~1月		建設技能 労働者不足率 (6職種計・原数値) 1月		有効求人 倍率 (季調済) 12月	
地域	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	%	対前年増減	倍	対前月増減
北海道	△15.1	△35.4	20.9	△4.0	△7.1	△4.4	0.3	0.7	0.57	0.00
東北	3.2	△11.0	△7.8	3.3	12.9	11.3	△0.2	△1.4	0.85	△0.01
関東	1.5	△1.1	△4.0	1.0	14.3	△9.1	4.8	4.7	1.20	0.00
北陸	△10.8	△27.0	6.1	9.6	17.7	32.8	0.4	0.8	1.39	0.05
中部	5.4	△9.3	7.4	11.7	△9.7	16.1	2.1	2.4	1.64	0.00
近畿	△4.6	△19.0	△1.7	4.9	27.1	24.1	1.7	△0.6	1.13	0.01
中国	△4.7	△4.3	11.8	2.9	25.6	50.0	2.0	2.6	1.22	0.01
四国	△5.2	△13.5	16.6	1.7	△18.2	52.9	0.0	△0.7	0.95	0.04
九州	0.1	△19.9	7.1	5.3	18.9	15.1	1.4	△0.2	0.81	0.02
沖縄	—	△21.4	68.6	20.9	△9.7	116.7	1.3	1.3	0.42	△0.01
全国	△1.3	△14.3	2.3	3.8	11.3	10.3	1.5	1.0	1.08	0.02

資料：国土交通省「建設総合統計」、「建設工事受注動態統計調査」、「建築着工統計調査」、「建設労働需給調査」、
帝国データバンク「全国企業倒産集計」、厚生労働省「一般職業紹介状況」

注) 建設総合統計の「九州」欄は、沖縄を含む値となっている。
建設技能労働者不足率は、プラスは不足、マイナスは過剰を意味する。
労働に関する指標の対前年増減、対前月増減の単位はポイント。



区分 地域	投資	受注・着工 ベース		
	建設 総合 統計	公共機関	民間非 居住用 建築物	新設 住宅
	平成18年計 前年比 (%)	受注 平成18年計 前年比 (%)	平成18年計 前年比 (%)	平成18年計 前年比 (%)
北海道	△ 12.4	△ 25.1	16.0	△ 2.2
東北	5.0	△ 9.2	△ 0.0	3.7
関東	2.2	△ 27.7	△ 8.5	1.9
北陸	△ 8.4	△ 25.7	10.4	6.3
中部	4.9	△ 9.2	6.6	11.4
近畿	△ 4.0	△ 21.9	△ 0.3	7.8
中国	△ 4.3	△ 8.4	16.7	3.6
四国	△ 7.7	△ 16.1	18.3	△ 0.8
九州 ・ 沖縄	2.8	△ 9.0	18.2	5.2
全国	△ 0.3	△ 18.8	2.5	4.4

資料：国土交通省「建設総合統計」、「建設工事受注動態統計調査」、「建築着工統計調査」